



国際派レディの必須科目

日本の芸道は、特異な技術ではありません。美しい花々。美しい所作。世界が称賛しています。英語が堪能でも、母国の文化を理解していなければ、異国の人々は首をかしげるでしょう。東京女子学院では、英語、数学、国語…に加えて、グローバル時代の文化的学びである「必須科目」を重んじます。

瑩心流「華道」を習い、四季の花々を愛でながら、空間のバランス・色彩はもとより、自然環境についても考えを深めます。自然と共存する心構えを培います。生花は、自宅に持ち帰り生活を彩ります。卒業時に師範免状を取得することができます。小笠原流「礼法」を修めて、心と形のつながりを理解し、相手に敬意を持つことや区別の大切さなどを学びます。

ムーヴ編集部

東京女子学院を ススメたい

控えめで慎ましい高校だから
知られていなければ残念です
本誌がエッセンスをお伝えします

学院プロフィール

■創立 1936年(昭和11年)
当時の名称は「芙蓉女学校」

■校訓 正しい姿 明るい心

- 国際感覚を育む
- 信頼される人間性を育む
- 基礎力・応用力を育む



親しい共感

家族のような女子校だから、
集団の「率」「計」を求めずに、
実りは一人ひとりの笑顔。

温かい支援

先生は、担任や授業担当のクラスを超えて、全在校生のパーソナリティを把握しています。生徒目線では、全先生が担任かのような。悩み多きころだから、親密なサポーター陣が心強い。選択科目では数名の授業も開講。和やかな対話型のレッスンです。難題でも、授業中に解決。軽快に学んでいます。

実は「強豪」校

ダンス部はアメリカに遠征するほどの「本物」。バレーボール部は、例年、インターハイ予選を、上位に勝ち進みます。テニスコートを飛び交うのは、手ごわい剛球です。全校生徒300名未満。校風は奥ゆかしく上品。でも、パワフルに打ちこむ表情も学院生の素顔です。

先輩から熱いエネルギーを受けとろう

「バレーボールに明け暮れた高校生活でした。高1から試合に出て、東京都大会でも9位の成績を収めました。受験勉強を始めたのは、部活を引退した高3の夏からでしたが、学校の授業をきちんと受け、課題をこなしていれば知らず知らずのうちに基礎力がしっかりついていて、一般受験で国立大学に合格できました。」

——A.I.さん(2020年3月卒) 群馬大学 理学部化学生物化学科 在学中

海外研修・留学制度が多彩



それぞれの夢へ導く道を選びましょう。
共通の願いは——

グローバル社会で 貢献する女性の育成

注目! 全コースアメリカ修学旅行を体験します。
フードカルチャーコースは、普通科高校では希少。

Study Abroad Course (SA)

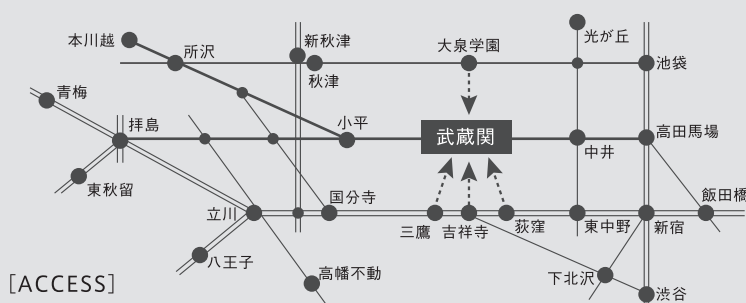
スタディアブロードコース
▶▶▶海外で学び世界を感じとる

Select learning Course (SL)

セレクトラーニングコース
▶▶▶世界で自分の未来を選び出す

Food Culture Cours (FC)

フードカルチャーコース
▶▶▶食を通じて世界と向きあう



西武新宿線「武蔵関」徒歩3分

▼武蔵関まで30分~40分ほどの駅(例)

- | | | | |
|-----|-----|-----|----|
| 光が丘 | 下北沢 | 渋谷 | 立川 |
| 池袋 | 飯田橋 | 国分寺 | 拝島 |

*8月7日8:00着で編集部調査(鉄道利用)

大泉学園・三鷹・吉祥寺・荻窪からのバスは武蔵関駅至近まで15分ほどです。

「 体育やテニスに思い切り熱中できます。男子の視線が届かないからです。人工芝グラウンドを女子だけで独占。自力を精いっぱい発揮したいのなら女子校へ!

「 優しい気分で生活できます。校舎はリニューアルしたばかり。とってもキレイです。木材がたくさん使われているので、心安らく温もりが満ちています♪

「 全校生が平等です。先生から、学習やクラブの成績で差別されることは、ぜったいにありません。威張り散らす先輩もいません。安心して下さい。

「 毎日、お腹いっぱい食べたいなら、全力でオススメします!桜カフェ(カフェテリア)では本物のシェフがお料理。美味しい!もちろん、「ガールズ専用」だから遠慮は不要です(^^@)/

カフェテリアインスタグラム
ランチの写真満載!



Sさん(2年生) ダンス部 / 生徒会副会長

中学生の皆さんへ

きっと、^{あなた}貴女は
東京女子学院が
向いている!

2名の在校生の偽りない証言です



Kさん(2年生) 硬式テニス部 / 生徒会会長

「 ボスチームが支配? 対立グループが抗争? それは古い少女コミックワールドです。ここはホンワカと平和です。

「 校則は共学の私立高校と同じでは? みんな、納得しています。

「 心の余裕を保ちながら、自分の「等身大」を少しずつ伸ばしたいマイペース派にはピッタリです。ハードなトレーニングで鍛えあげたい根性派は競争が足りないと感じるかも…。

「 個性を認めあって互いに尊重します。守り継がれている学院文化です。阻害されない。強要されない。だから、自分らしく自分のままで過ごしています。

仲間といっしょに成長していると実感します。みんなで集めた宝物を、来春、出会う皆さんに手渡したいです。

キャンパスでお会いできれば嬉しいです —Kさん・Sさんより

「 コロナ禍はなかなか晴れませんが、秋は中学生の皆さんをお迎えできると信じています。公立高校の併願校を探している皆さんも大歓迎。少人数校ですが、本音を言えば、もっと仲間が増えてほしいです。お待ちしております。[2020年7月末]

公式ツイッター始めました。(2020年6月〜先生発信)

日ごろの生活・授業シーンをレポート。ぜひライブなTJGをフォローしよう。



<https://twitter.com/tjg1936>



2020年春、 新入生が大幅増

2018年、大がかりなイノベーションが始まりました。発展する高校は、徐々に求心力が強まりました。さらなる発揚を担うのは、これから歩む皆さんです。先生も力がこもっています。今こそ、東京女子学院に向かうときです。

心優しき仲間たち —野口潔人校長先生より

日々、生徒を見渡しています。睨みつける尖った眼は見当たりません。校地の柔らかい大気に包まれて、自ずと瞳は優しい。相互受容を心得て、力まず自然な友情を紡いでいます。教職員が称えるべき本校生徒の美風。この2年で、ますます際立ちました。

皆が、あらゆる場面で誠実に努めています。私たちは、強い力で引きずるような指導を拒みます。彼女たちの「あっぱあっぱ」な姿は見たくないからです。呼吸は穏やかに、ときには水底に足をつけて、ゆっくり歩いてよいではないか。個々が「私らしく」を澄んだまま磨きあげてほしい。色とりどりの天賦が光輝く東京女子学院を目指しています。



野口校長先生とSさん・Kさん